

教育研修会

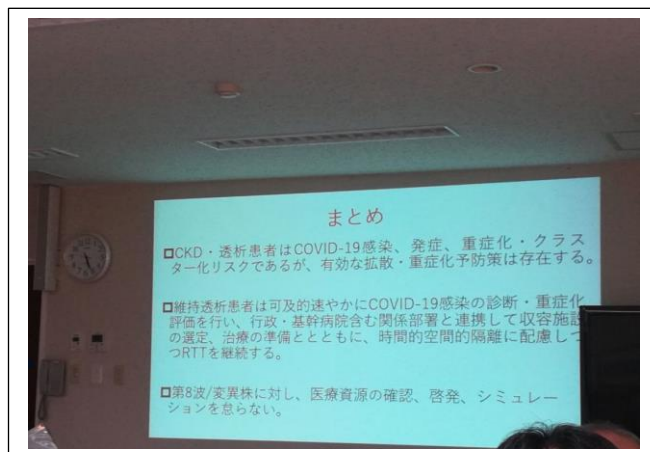
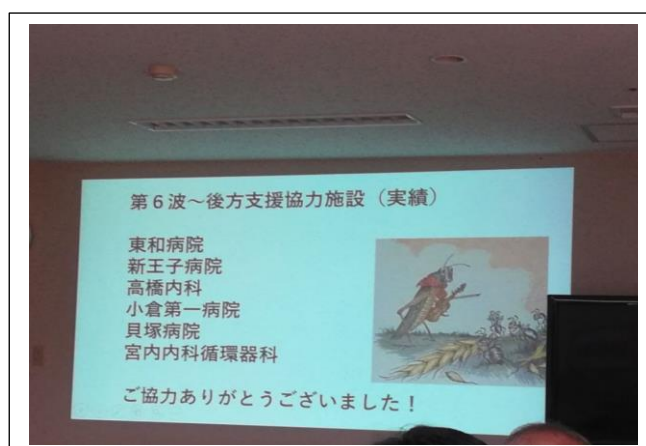
日時：R5年10月12日(木) 17時より開始

場所：新王子病院 4F 会議室A

講師：小倉記念病院副院長 腎臓内科部長 金井英俊先生

テーマ：透析患者COVID19感染症の変遷とその対策

講義中の様子です。



今回は透析患者のコロナ感染状況やワクチン摂取の効果などについてお話を聞くことができました。国内の継続的感染状況患者数 33,766,957 人。死亡者数 74,614 人。死亡率 0.2221% となっているそうです。透析患者で年代別の感染状況は高齢になるにつれて多く中でも 70 歳代の感染者数が最も多い。また、透析患者は一般患者より死亡率が 10 倍と高いとのことでした。日本の透析患者のワクチンの効果は 3 回接種されている方の死亡率がぐっと低下されており、やはりワクチン接種の効果は有効であることが分かりました。コロナに罹患し重症化でなくなる方もいますが、コロナ後の廃用やそれが進むことにより誤嚥性肺炎を起こしやすくなり、亡くなってしまわれるケースもあります。今後もワクチン接種だけではなく継続した感染予防に務めていくことが大切です。